

令和3年度 社会福祉法人 咲福社会 事業計画

世界各地で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症については、ワクチンなどの開発や接種計画が進む中、医療、福祉の現場ではいまだ明るい先行きが見えない不安から各種対応が難しいところである。しかし、都度の指針に沿った基本的対応を着実に行っていき、一刻も早い終息を願いつつ、新年度をスタートしたい。

1、基本方針

総合福祉を目指す社会福祉法人として、支援を必要としている人の自立と地域生活を支えるために、専門性を高め熱く誠実に向き合い、分野横断的なサービスの連携を図り地域共生社会の実現を目指す。

2、行動方針

- (1) 利用者のために何ができるかを考える
- (2) 「安心笑顔」の実践

3、重点目標

- (1) 経営基盤の安定と確立
- (2) 生産活動の向上と工賃向上
- (3) 従来の枠組みや考え方にとらわれない地域福祉のイノベーションの追求

4、具体的目標

- (1) 事業運営の強化と経営の安定化
 - ① 利用者と職員の主体性を引き出し、自立とやりがいのある事業所とする
 - ② 法人と各施設長とのミーティングを定期的で開催し、月次試算表・施設利用状況等の分析評価を行い、事業運営の効率化と法人経営の安定化に努める
- (2) 生産活動や教育環境のレベルアップと施設整備計画の継続推進
 - ① 自主事業を拡げる工夫と作業場、加工場、研修指導室等の見直しと整備
 - ② 施設整備は財務体質の充実を図りつつ助成金、補助金の申請と合わせ整備に努める
- (3) お金がないで終わらせない福祉と見える化の推進
 - ① 公的な財源に依存しない財源確保（必要な寄付や協力）の推進と働きかけの実施
 - ② 社会的信用や事業の健全性を維持するため広報活動（ネットや冊子）を充実させる